

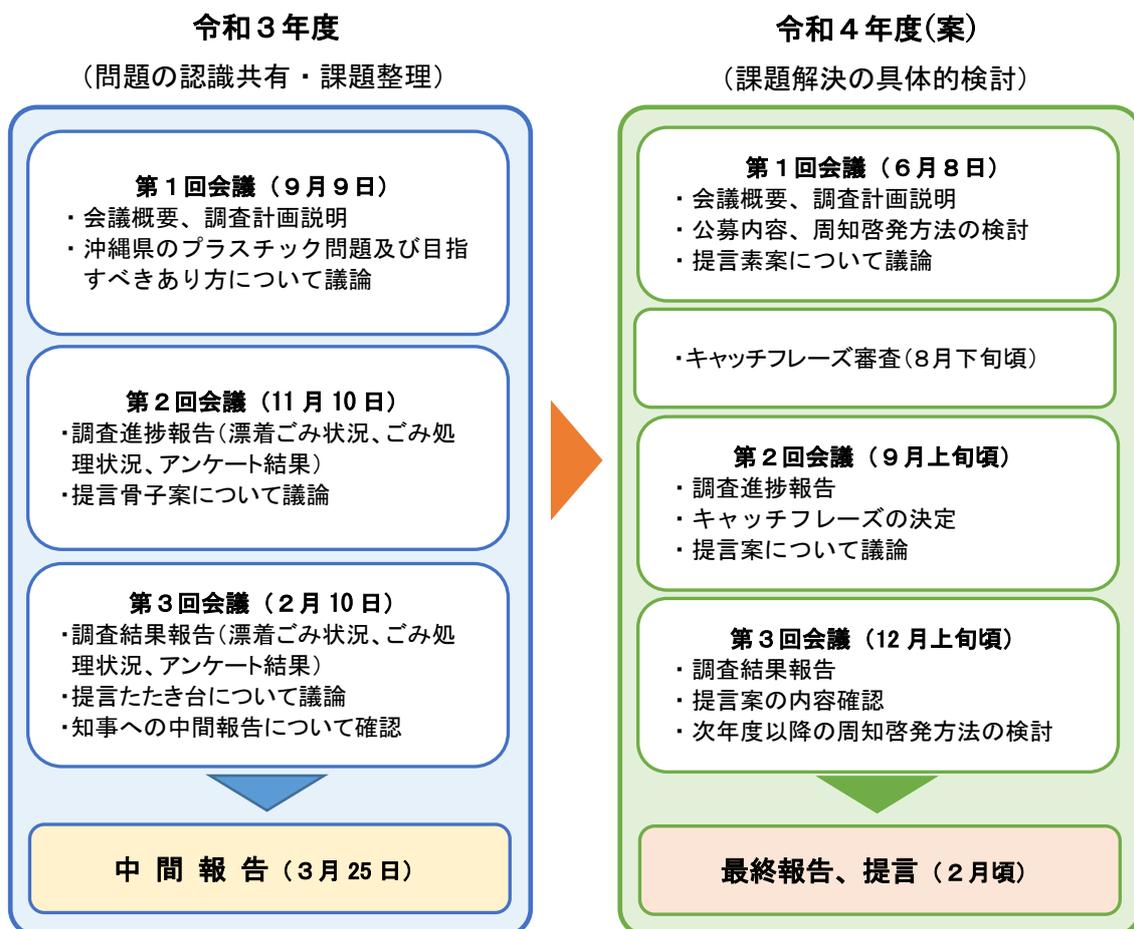
## 令和4年度万国津梁会議について

### 1. 令和4年度の会議の進め方について

プラスチックごみによる海洋汚染が懸念され、世界的にその対策が進む中、四方を海に囲まれた沖縄県においても、持続可能な島しょ型プラスチック資源循環社会への変革に向けた取り組みを推進するため、令和3年度に「プラスチック問題に関する万国津梁会議」を立ち上げました。

昨年度の会議においては、本県におけるプラスチック問題の現状と課題の共有を行い、本県のプラスチック資源循環のあり方を委員それぞれの見地からご議論いただき、提言たたき台を取りまとめました。

今年度は、昨年度の議論及び調査により抽出された課題を踏まえ、それらを解決するための具体的な方策を3回の会議を通してご議論いただき、提言として取りまとめ、知事へ最終報告を行います。(図1参照)



委員任期：令和3年8月23日～令和5年3月31日

図1) プラスチック問題に関する万国津梁会議 スケジュール

## 2. プラスチック問題に関する提言について

昨年度取りまとめた提言たたき台は、委員のご意見を分類分けして集約しております。今年度も引き続きご意見を追加、反映するとともに、次の方向性を加味し最終提言に向けた取りまとめを行う必要があります。

### 提言取りまとめの方向性

- ビジョン達成の実現性を高め、多様な主体の取組の参考とするため、提言の内容ごとに、短期・中期・長期と取組開始時期を定めて提示する
- キャッチフレーズ、アイデアなどの意見をどのように提言に反映させるかを検討する
- 先進事例紹介や写真資料等を文中に取り入れ、視覚的に分かりやすく整理する

また、提言の中心となる本県が目指すべきビジョンとして、昨年度の委員の意見を元に次の2点を掲げておりますが、今年度の議論や調査結果を踏まえ、最終的なビジョンを設定する必要があります。

### 沖縄県が目指すべきプラスチック資源循環社会のビジョン

1. 県民、企業、行政などが一体となって取組を推進し、プラスチック資源循環社会を目指す先進地として日本をリードする
2. 島しょ地域の特性や課題を踏まえ、島しょ型プラスチック資源循環社会を実現する

本県では、「21世紀に求められる人権尊重と共生の精神を基に、時代を切り開き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな美ら島沖縄を創造する」ことを基本理念とした『沖縄21世紀ビジョン』を平成22年に策定して以降、その実現に向けて取り組んでおります。

沖縄の目指すべき将来像を実現し、新時代沖縄を構築するため設置された本会議からの提言は、今後知事が政策を推進する上で意思決定の参考となり、また各主体がプラスチック問題に取り組む上で指針となります。

委員の皆様におかれましては、引き続き貴重なご意見を賜りますようお願いいたします。